

指定管理者制度導入施設 年度評価シート

評価年度

令和7年度

1 基本情報

公の施設名	橋本駅北口第1自動車駐車場他5施設
指定管理者名	タイムズ24・タイムズサービス・小田急ビルサービス共同企業体 (構成団体：タイムズ24株式会社、タイムズサービス株式会社、株式会社小田急ビルサービス)
指定期間	令和5年4月1日～令和10年3月31日
施設設置条例	相模原市営自動車駐車場条例、相模原市営自動車駐車場条例施行規則
施設の設置目的	中心市街地の道路交通の円滑化を図り、市民の利便に資するとともに、都市機能の維持及び増進に寄与するため。
施設概要	橋本駅北口第1自動車駐車場、橋本駅北口第2自動車駐車場、相模原駅自動車駐車場 相模大野立体駐車場、相模大野駅西側自動車駐車場、小田急相模原駅自動車駐車場
施設所管課	都市建設局 道路部 路政課

2 管理実績

項目（単位）	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
利用者数合計（人）	1,642,492	1,664,760	1,695,141	1,782,510	1,798,749		
利用料金合計（円）	728,295,500	721,996,750	825,646,652	921,426,519	972,618,126		
修正回転率（時間）	2.21	2.14	2.46	2.84	3.01		

3 成果指標の達成度

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
B	年間利用台数について、昨年比101%で微増しているものの、目標値には達することができなかったため、達成度90%以上100%未満のB評価とする。今年5月に街開きをした相模大野立体駐車場周辺一帯のアクセスが良好になったことから、今後も利用者増に繋がる新たな策を模索されたい。

指標1

指標名（単位）	駐車場（指定管理施設合計）の年間利用台数（二輪自動車を除く。）（台）
指標式と指標の説明	4月1日から翌年3月31日までの1年間の利用台数

項目（単位）	3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
目標値（台）	2,046,452	2,046,452	1,730,000	1,730,000	1,840,000	1,840,000	1,850,000
実績値（台）	1,642,492	1,664,760	1,695,141	1,782,510	1,798,749		
達成度（%）	80.3%	81.3%	98.0%	103.0%	97.8%		

4 事業の実施状況

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
S	前年に引き続き、「安全」に重きを置いたイベントやドライブレッスンの実施は、参加者からも非常に好評を得ており、市民への安全啓蒙活動に一役買っていると考えている。また、選考の際に提案いただいた「さがみはらファングッズの販売」については、運営上実施が困難とのことで見送られていたが、昨年度、当初から掲げていた「環境対策への取組」に「防災対策」の要素も加え、イベント参加者へのプレゼントという形で代替実施されたことは、非常に高く評価している。提案事項をよりよいものに変更して実現させるスキルや、イベントでの本市のPR活動や環境に配慮した姿勢は、今後も継続して行っていただけるよう期待している。

市が指定する事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等	評価
なし	—	—	

企画提案事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等	評価
なし	—	—	

自主事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等	評価
カーシェアリング事業	通年	全6施設に合計50台配置。市民の方だけでなく、来街者への新たな移動手段としても活用されている。	○
飲料等自動販売機事業	通年	橋本駅北口第1、橋本駅北口第2、相模原駅、相模大野立体の各自動車駐車場に計15台設置。うち橋本駅北口第2自動車駐車場を除く各物件に1台ずつ災害対応自販機を設置。相模大野立体駐車場についてはユニバーサルデザインの自販機を設置し、多くの駐車場利用者に活用されている。	○
ドライブレッスン	10月	相模大野駅西側自動車駐車場と橋本駅北口第1自動車駐車場において、地域住民様向けの駐車に特化した運転講習会を実施した。開催した2回とも非常に好評で、普段運転する機会が少ない方や駐車が苦手な方へ運転をするきっかけ作りを提供した。市外からの参加者も見られ、本イベントをきっかけに施設に来場いただき、また訪れたいと回答いただいた。	◎
交通安全啓蒙イベントの実施	3月	橋本駅北口第2自動車駐車場にて、交通安全啓蒙及び顧客満足度の向上を図るため、貴市のご協力もいただき、当該駐車場の施設利用者や施設関係者、地域住民向けの交通安全啓蒙イベントを実施した。屋内開催であったにもかかわらず、およそ550名にご来場いただいた。	◎
さがみはらファングッズの配布	3月	交通安全啓蒙イベントのノベルティとして、小田急ビルサービスと連携し、環境配慮及び防災対策のグッズを作成、配布した。また、緑区地域振興課協力のもと、緑区の公式ゆるキャラである「ミウル」のシールも配布し、市のPRに貢献した。	◎

5 利用者の満足度

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
A	アンケート実施直前に、市の別委託事業による類似アンケート回収が行われていたため、アンケート実施期間の短縮やアンケート依頼に苦慮されたことと推察する。その中で実施した調査だったが、期間が4分の3に短縮されたにも関わらず、回収数が多かったことを評価している。達成率は100%以上110%未満のため、A評価とする。今後もアンケートの自由意見を丁寧に受け止め、駐車場運営に反映していただきたい。

利用者満足度調査	
調査手法/サンプル数	利用者へのアンケート調査を実施。（WEB上及び現地係員にてアンケート用紙配布） 期間：令和7年12月15日～令和8年2月13日まで 回答数：1,436（WEB：310、紙：1,126）
目標値の基準	「総合的な満足度」の設問のうち、「満足」、「どちらかといえば満足」と回答した方の割合

項目（単位）	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
目標値（%）	80.0	80.0	80.0	80.0	82.5	85.0	85.0
実績値（%）	89.0	90.2	88.4	88.7	84.2		
達成度（%）	111.3%	112.7%	110.5%	110.9%	102.1%		

その他の取組		
取組事項	時期	取組内容
コンタクトセンターによる24時間365日対応可能な体制	通年	弊社グループ内のコンタクトセンターにより、現地係員のいない時間帯でもお客様の意見聴取を可能とする体制を構築している。
位置指定定期の導入	7月	相模大野立体駐車場の地下において位置指定定期（月極）を導入した。近隣住民や周辺企業勤務者の需要を見込んでおり、令和8年3月31日時点で募集数111台に対し、契約者数86名と多数の契約を獲得している。
メールマガジンの配信	1月	アンケートの回答数向上のため、過去に相模原市営駐車場を使用したことのあるタイムズクラブ会員に向けてWEB版アンケートを配信。配信後3日間で240件の回答があり一定の効果が見られた。

6 施設の経営状況

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
S	本体事業収支、自主事業収支ともに黒字であり、また団体本体の経営状況にも特段の問題はないため、健全な経営がなされていると判断しS評価とするもの。

施設の収支概要		※直近3年間について記載			(千円)
項目		令和5年度	令和6年度	令和7年度	
収入（a）		840,647	921,426	972,618	
指定管理料		0	0	0	
利用料金収入		825,647	921,426	972,618	
その他の収入		15,000	0	0	
支出（b）		830,013	889,304	929,825	
人件費		129,839	129,839	146,675	
施設管理経費		191,639	164,978	145,978	
本社管理経費		36,000	36,000	36,000	
その他の支出		0	0	0	
納付金		472,535	558,487	601,172	
本体事業収支 【(a)-(b)】(c)		10,634	32,122	42,793	
自主事業収入（d）		18,794	16,259	12,918	
自主事業支出（e）		3,715	4,618	4,673	
自主事業収支 【(d)-(e)】(f)		15,079	11,641	8,245	
全体収支 【(c)+(f)】		25,713	43,763	51,038	
備考					

団体の財務状況	団体本体の経営状況について特段の問題はない。
---------	------------------------

7 管理業務の履行状況

検査方法	市チェックリストに基づき、指定管理者へのヒアリング及び現地確認により検査を実施 また、令和7年度中の報告書等を確認
実施時期	現地確認：令和8年3月27日 報告書：毎月

検査項目	確認結果	備考
管理業務	適正に実施	
危機管理	適正に実施	
人員配置・地元活用	適正に実施	
現金管理	適正に実施	窓口で現金を取扱っていない（現金受払簿が存在しない）
会計・経理	適正に実施	
情報セキュリティ	適正に実施	
情報公開・個人情報保護	適正に実施	
市への報告事項・事前承認等	適正に実施	
加点事由	具体的内容	

8 ウェブアクセシビリティ

ホームページの作成	有
-----------	---

ウェブアクセシビリティの取組項目	取組状況
機種依存文字を使っていない。	○
ページ内の文字の大きさを変えることができる。	○
単語の途中にスペースや改行を入れていない。	○
ページ内容を的確に表しているタイトルが付いている。	○
ダウンロードできるファイルには、ファイルの種類とサイズを記載している。	×
画像には、代替テキスト等を付与し、支援技術利用者にも適切な代替情報を提供している。	○
背景色と文字色にコントラストを確保するなど、色使いに配慮している。	○
その他取り組んでいること	

9 指定管理者の自己評価

令和7年度においてはこれまでの2年間の経験を活かし、より安定した管理運営ができた1年だったと考えている。

利用料金収入は合計972,618,126円となり、前年度より51,191,697円の増収（前年比106%）となった。事業計画値と比べても40,086,958円上回ることができ、当初想定よりも多く追加納付金を支払うことができた。増収の大きな要因としては、7月から導入した相模大野立体駐車場地下階での位置指定定期において、契約者が順調に増加したことや、隣接する旧伊勢丹跡地のマンション建築工事による工事業者等の需要増があげられるが、一度利用した方が繰り返し利用していただけるような駐車場を目指し、管理運営している成果がより一層の増収を達成できたものと自負している。

また、市営駐車場におけるカーシェアリングの本格展開や交通安全啓蒙イベントの開催を始めとした駐車場の付加価値を高める企画も実施し、今までよりもより一新された市営駐車場運営が実現できたのではないかと考えている。

一方で年間利用台数については合計1,798,749台と前年度より16,239台増加したものの、令和7年度の目標値が前年度より110,000台増加した影響もあり、達成度97.8%と目標未達となった。要因としては、長時間の利用者が増えたことにより、利用料金収入の伸びに対して利用台数が追いついていないことが想定される。

今後も、駐車場利用者や市民の方に便利で快適な駐車場サービスを提供していくとともに、引き続き駐車場の適正な維持管理と運営に努めていく。

10 所管課意見

令和7年度はこれまで以上に安定した運営がなされ、計画値の144%となる1億7千万円の追加納付額となり、基本納付金と合わせ約6億円を納付されたことを、大変評価している。昨年度は、複数の駐車場において大規模修繕や大きな事故も多く発生し、運営にも多大な影響があったものと承知している。また、経年劣化による設備の不具合も頻発し、施設面では特に尽力いただいた。困難なトラブルの際も、都度、迅速な報告や丁寧な対応をしていただき、安心した駐車場運営が行われたことを高く評価する。収入面でも、昨年7月から相模大野立体駐車場地下階にて位置指定定期（月極）の契約を開始したが、想定以上に契約数を伸ばし、1年経過した6月末現在で契約率は約90%となっており、多額な追加納付金につながっている。

一方で、指定管理者の自己評価にもあるように、成果指標の達成度に用いられる年間駐車台数については、7年度より目標値が大きく上がっていることから、利用率や収入が上がっているにもかかわらず、達成することができなかった。今年5月に、相模大野立体駐車場周辺の街開きも行われ、周辺のアクセスも向上したことから、今後は新たな駐車場利用者の取込みに期待したい。

指定管理期間も3年が経過したが、募集を実施した4年前と比較し、駐車場周辺の環境や来街者の様相、形態も様変わりしており、市営駐車場に求められる形もまた変化してきていると考えられる。カーシェアリング事業を始めとした、駐車場のさらなる付加価値への新たな提案等、駐車場運営のプロとしての知見を今後も惜しみなく発揮され、市営自動車駐車場がより選ばれる駐車場となるよう、今後ともご協力願いたい。

11 選考委員会意見

自動車駐車場指定管理運営は、良好に履行されているといえる。

前年度と比較し、料金収入、利用台数ともに増加しており、着実に実績を伸ばしている。しかしながら、指標である利用台数は、今回目標値が大きく上昇していることもあり、達成することができなかった。今年5月に相模大野立体駐車場周辺の街開きも行われ、周辺のアクセスは格段に向上したことから、目標達成に向けこれまで以上に趣向を凝らされたい。

事業の実施状況については、自主事業としてドライブレッスンや交通安全啓蒙イベントの実施等、安全を重視した取組を積極的に実施し、非常に盛況だったため、ぜひ継続していただきたい。

利用者の満足度については、WEB等によるアンケートを積極的に活用し回答する機会を増やしていることを評価する。アンケートの結果は、良好な意見が多く寄せられている反面、昨年同様の日常的な清掃や設備への意見も見られるため、今後もできることから改善していただきたい。

施設の経営状況については、本体事業収支、自主事業収支ともに黒字であり、団体本体の経営状況にも問題はなく、健全な経営がなされていると判断する。

管理業務の履行状況については、市が現地や報告書を確認した結果、昨年度指摘された報告書等の提出遅れは改善され、適正に処理されていた。今後も引き続き期限を遵守されたい。

また、長年閉鎖していた相模大野立体駐車場の地下階を大幅に再整備し、位置指定定期（月極）駐車場として運営を開始したことは、高く評価する。納付金についても、基本納付金4億3千万円に加え、利益が出たことによる追加納付金で、合計6億円超の納付となっており、市への貢献度は非常に高い。

次年度は指定期間も終盤に入るため、より一層の目標値達成に向けた取組を試行され、引き続き誠実な業務の遂行に努めていただきたい。

